

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：大分

グループ：しらす
班

2020.10.10

ICTとネット格差

勉強についてのictの活用

zoomや電話、ラインなどで先生に直接聞く。
友達と一緒に解いたり、教えてもらう。

ict活用のメリット

時間と場所の制約がない

空き時間ができる

さまざまな人と話せる

話し合いなどの頻度が多くなる。

ict活用のデメリット

時間や場所が限られる 相手の表情がわからない
相手にうまく情報が伝わらない

通信の制限がある
相手がどのような人か判断きない

ネット格差の削減

ICTをより身近な存在に（小学校からICTの活用、学校課題などでの利用）

チュートリアル（端末の使い方をよりわかりやすく）

便利な機能は他の端末でも取り入れていくべき

5Gの普及

ネット格差の削減2

ネット環境の統一化

市がネット環境を無償配布（サポートも）

ズームなどの機能の簡素化

Android版とアップルを統一化！

学校からICTに

家にいながらも誰とでも交流が出来れば

各学校ごとにのコミュニティがあって先生や生徒たちがそのコミュニティに参加する



聞きたいことを書き込んで聞ける(先輩や先生)

家でもこのコミュニティを使うのでICTに触れる機会が増える

インターネットを身近にするために

- 1,チュートリアル的なものを作る
- 2,もっとかんたんにする
- 3,授業などで使う

ネット格差を無くすには 04うえやま

やはり **身近なものにする**事が大事だと思う

- 1 小学校からのICTの使用
- 2 勉強面での使用(宿題をクラウド上で出すなど)
- 3 それに伴って一人一台のiPadなど

今後のictの活用

ictの授業を増やすべき

家からでもいろいろな人に会えるサービスをつくる

（家からでも誰かと一緒に入れる、仮想空間）

網戸などをスクリーンにする

授業以外でもictを活用していく（健康診断など）

グループワーク1

- ・ (zoom)昼夜逆転しないため
- ・ 分からないところを調べた
- ・ 進路についてディスカッションをした

メリット→ 通学時間の短縮、密回避

参加意欲の向上

デメリット→ ルールが必要、正確な情報を見つけ
ないといけない、データの選択スキル、通信状況の
整備

グループワーク2

・ LINEで通話 文章でのやり取り SNS ダイレクトメッセージ

メリット→ いつでもどこでも繋がれるところ

デメリット→ 勘違いや誤解が生まれる、情報リテラシーを理解しないとトラブルが発生しやすい

まとめ1

個人のネット環境の整備

全国でオンライン授業ができたのは30パーセント

高齢者の孤独死の阻止

友達と会えなくて塞ぎ込んでしまう子を減らす

防災時の情報発信

まとめ2

情報リテラシーの理解

トラブルに巻き込まれるのを防ぐ

ネットの怖さを知ることによって言動に気をつけることができる

勉強したことを現実社会に役立てる

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：大分

グループ：

2020.10.10

バンブー バンヴィー

～新しい生活様式に対応するための3つの提案～

テーマ1 学業、勉強などの面

○自分の好きなタイミングで勉強できる

○自主的にできる

△ふに落ちないこともある。

△情報が簡単に出てくるので身につかない

△必要な情報を見つけるのが大変

△他のことに目移りしてしまう

△勉強をする気になれない

テーマ2 コミュニケーション

- 時間や場所を考えずにコミュニケーションとれる
- ゲームと一緒に会えなくても出来る
- △顔が見れない
- △うまく伝えられない
- △回線がうまくいかない
- △気遣う
- △ネットに残ってしまう

提案

- ①日本のネット普及
- ②スマホの使用制限
- ③情報モラルの強化

具体策

①5Gを普及

日本ネット標準装備⇒セキュリティ強化

②スマホの時間制限のフル活用

守れなかったらスマホ使用禁止になる機能
ネットだから大丈夫だと思わない

③炎上、悪口を未然に防ぐ機能

決まった用語をブロック

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：大分 グループ：ククミス・メーロ 2020.10.10

コミュニケーションができる
当たり前前の世の中を

今の現状での困りごと

①勉強面での「分からない」が聞けない！

→自分で学習をする事で生じる疑問点が解決できない

②友人とコミュニケーションが取れない

→お花見に行けなかったり、海に行けなかったりする。

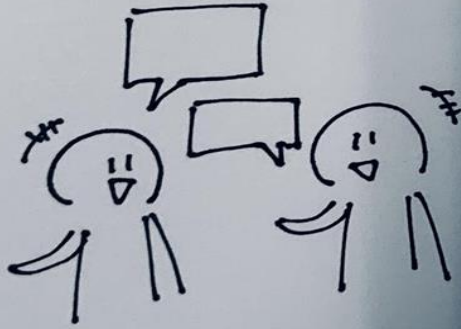
実際に会ってなくても

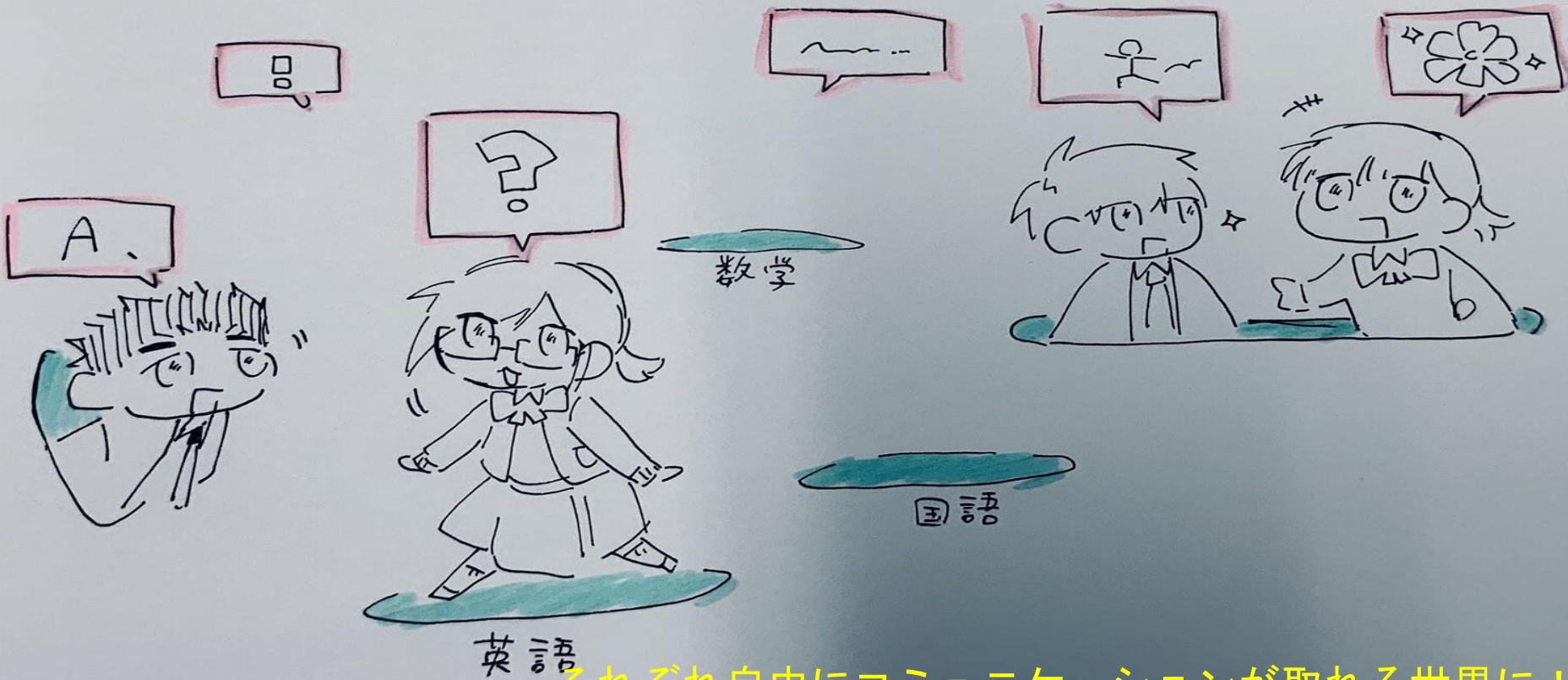
コミュニケーションがとれる!!

VR みたいは

人と話せるように

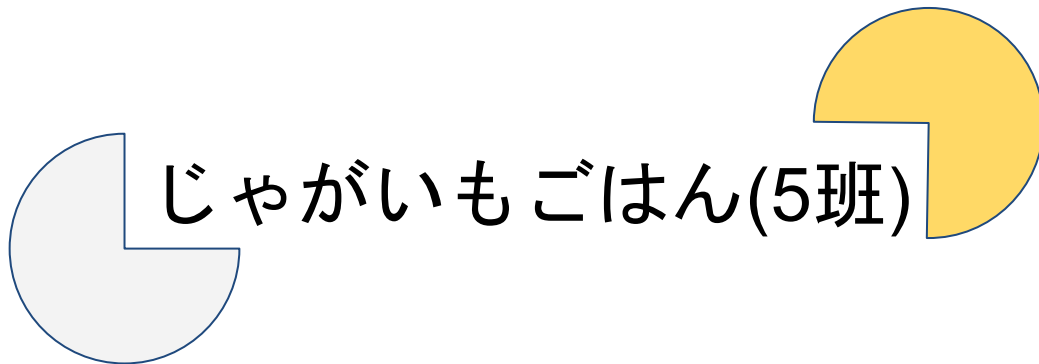
なっほし!!





それぞれ自由にコミュニケーションが取れる世界に！

2020.10.10



新しい技術と向き合うために

学業 メリット

- ① ICT を利用してオンライン授業や大学の講義などに使う事が出来る
- ② 高校では電子黒板などを利用して授業ができる
また、クラス全員で講義を受けれる

学業 デメリット

- ① ネットだけでは分からないところもある
- ② 個人差が大きくなる
- ③ 娯楽へ流れる(YouTubeなど...)

コミュニケーション メリット

LINEや電話、インスタグラムのDMなどを使ってコミュニケーションを取っている。

- ①いつでもどこでもコミュニケーションを取れる
- ②情報を確実にゲットできる
 - ⇒グループLINEなどのトークなど

コミュニケーション デメリット

- 文字のみや声のみでのコミュニケーション
 - 感情が伝わりにくい
 - すれ違いが起きてしまう

行動制限の時代に足りないもの

知識

知識面の課題

学校では技術に対して理解者が少ない

→教員の負担が大きくなってしまったため、
技術を活かすための講習を積極的に行えない

どのように解決すべきか...

課題を解決するために

高校生へのネット免許のようなものを作って
理解者を生徒側にも増やしていく

授業などで理解を深める機会を設ける

生徒も教師も共に使っていくことのできる
技術との向き合い方が必要なのでは無いか

できたらいいなこんなこと

- VR(バーチャルリアリティー)を活用して、家の中だけで学校や買い物、その他の行動を完結させるようなシステムの開発
- 通信量の大幅な削減
- オンラインで出来るPCR検査

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：大分

グループ：

6班

2020.10.10

大分トリニータ

学業、勉強でどのように使ったか

- ・ わからない英単語を調べる。
- ・ youtube映像
- ・ 学校側が問題提供
- ・ 勉強アプリでお金がかからない範囲で勉強をする。
- ・ 参考書や本で勉強する。
- ・ 質問できるアプリを使う。
- ・ ビデオ通話を使って勉強する。

人とのコミュニケーション

- ・勉強面でつまづいた所を共有、解決
- ・休校中の、オンライン朝礼による顔合わせ
 - ☐顔と名前が一致しきれてない新一年生などには

ありがたい

- ・LINEやSNSなどの通話による友人とのコミュニケーション

もっとよりよくしていくために

- ・ zoomやパワーポイントを使う

→企画, 授業

- ・ 全員にタブレットを貸し出し
- ・ 半日家 半日学校

→対面とオンラインの良さを活かして使い分け

課題 環境を整える為の費用